



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社メルコホールディングス 上場取引所 東 名
コード番号 6676 URL https://melco-hd.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧 寛之
問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 瀧 保一 TEL 03-4213-1122
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

Table with 5 main columns: Sales, Operating Profit, Regular Profit, and Parent Company Shareholder's Profit. Rows for 2024 and 2023 Q1.

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 997百万円(Δ19.9%) 2023年3月期第1四半期 1,244百万円(Δ46.8%)

Table with 2 columns: Per Share Profit and Potential Adjusted Per Share Profit. Rows for 2024 and 2023 Q1.

(2) 連結財政状態

Table with 4 main columns: Total Assets, Net Assets, Equity Ratio, and Per Share Net Assets. Rows for 2024 and 2023 Q1.

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 62,343百万円 2023年3月期 62,463百万円

2. 配当の状況

Table showing quarterly dividends with columns for interim periods, end of period, and total. Rows for 2023 and 2024 Q1.

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

Table with 6 main columns: Sales, Operating Profit, Regular Profit, Parent Company Shareholder's Profit, and Per Share Profit. Row for the forecast period.

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

・当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予測の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	16,937,873株	2023年3月期	16,937,873株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	115,066株	2023年3月期	81,726株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	16,846,187株	2023年3月期1Q	16,873,514株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本および世界経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、感染拡大防止のための行動制限緩和によって、社会経済活動の正常化が進んだものの、ウクライナ情勢の長期化、世界的な物価の上昇、円安の進行など、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループに関係するデジタル家電業界は、法人向け市場において、企業の設備投資には回復傾向がみられたものの、個人向け市場においては、物価高による消費余力の低迷等により、パソコン周辺機器への需要の縮小は継続しております。また、生麺業界でのチルド麺・冷凍麺市場は、家庭用市場において、価格改定の影響などにより食数では前年を下回るも金額では前年を上回りました。一方、業務用市場においては、外食市場の回復などを受け、食数・金額とも前年を上回りました。

こうした状況下、IT関連事業では、全社的にテレワークの実施、オフィス内での分散勤務、遠隔会議システムの利用など業務継続を確保するための対策を継続し、安定した商品供給を最優先としながら、主力商品の積極的な販売活動に努めました。また、食品事業においても、引き続き感染症対策を徹底の上、原材料・資材の確保に注力し商品の安定供給に努めると共に、安定的な利益確保と売上拡大に取り組みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高347億35百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益7億61百万円（同56.1%減）、経常利益7億34百万円（同56.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億50百万円（同51.8%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

IT関連事業

主力とするパソコン周辺機器市場において、法人向け市場ではネットワークで企業DXを支援する一環として、最新規格Wi-Fi 6E^{※1}に対応し、最大768台^{※2}の同時接続が可能な法人向けトライバンドWi-Fiアクセスポイントを発売いたしました。また、中規模オフィス向け新ラインナップとして、ランサムウェア対策に有効な「スナップショット機能」を搭載した法人向けNAS「テラステーション」を発売いたしました。さらに、法人のネットワーク環境整備支援のため、現地調査費を特別価格で実施するキャンペーンを引き続き展開いたしました。個人向け市場では、最新規格Wi-Fi 6E、12ストリーム対応で独自の外付け「トリプルバンドダイポールアンテナ」を搭載したWi-Fiルーター フラッグシップモデルを発売いたしました。商品の安定供給に努めシェアは維持・拡大したものの、国内需要の縮小により売上高は横ばいとなり、円安を主要因とする原価高騰により、利益面では非常に厳しい収益環境となりました。

一方、当社グループ会社が国内代理店を担っている高性能空気清浄機「Airdog」においては、販売台数は前期を下回りましたが、「バッファロー正規データ復旧サービス」においては、受付件数が累計6万7千件を超えて順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高244億68百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント損失73百万円（前年同四半期セグメント利益9億26百万円）となりました。

食品事業

販売面では、家庭用は、主力商品の「流水麺」そば2人前に国産そば粉を使用し付加価値を高めると共に、付加価値商品の拡販のため、積極的にテレビCMと消費者キャンペーンを実施し、節約志向に対応した「太鼓判」や家庭用冷凍麺などの拡大に取り組みました。業務用は、ロングセラーの「真打」稲庭風うどんなどの付加価値商品の提案を強化し、継続して新規需要家の開拓に取り組みました。利益面では、主原料の小麦粉・そば粉などあらゆる原材料・資材や人手不足により製造労務費が上昇する中、引き続き原価の低減に取り組むと共に、2023年2月実施の商品価格改定の定着に努めました。

その結果、売上高102億11百万円（前年同期比13.7%増）、セグメント利益11億55百万円（同5.6%増）となりました。

※1：Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

※2：各バンドにつき256台、実効スループットは環境に依存します。台数は理論値です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は957億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億32百万円増加しました。流動資産は680億66百万円となり、20億46百万円増加しました。これは主に、原材料及び貯蔵品の増加21億21百万円、商品及び製品の増加18億25百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加13億86百万円、現金及び預金の減少33億5百万円によるものです。

固定資産は276億75百万円となり、2億86百万円増加しました。これは主に、無形固定資産の増加8億23百万円、投資その他の資産の減少3億52百万円によるものです。

負債合計は333億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億52百万円増加しました。流動負債は303億87百万円となり、24億46百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加35億99百万円、その他流動負債の減少6億7百万円、未払費用の減少4億29百万円によるものです。

固定負債は30億11百万円となり、6百万円増加しました。これは主に、役員退職慰労引当金の増加41百万円、退職給付に係る負債の増加11百万円、その他固定負債の減少46百万円によるものです。

純資産合計は623億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億20百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の獲得5億50百万円、配当金の支払額10億11百万円、その他の包括利益累計額の増加4億46百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,506	17,201
受取手形、売掛金及び契約資産	16,693	18,080
商品及び製品	15,284	17,110
原材料及び貯蔵品	7,136	9,257
その他	6,405	6,428
貸倒引当金	△7	△10
流動資産合計	66,020	68,066
固定資産		
有形固定資産	11,236	11,052
無形固定資産	3,394	4,218
投資その他の資産		
投資有価証券	10,395	10,451
その他	2,487	2,078
貸倒引当金	△124	△124
投資その他の資産合計	12,757	12,405
固定資産合計	27,389	27,675
資産合計	93,410	95,742
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,588	18,187
電子記録債務	742	746
1年内返済予定の長期借入金	99	—
未払金	3,117	2,942
未払費用	2,920	2,490
未払法人税等	303	440
契約負債	4,432	4,457
役員賞与引当金	15	5
製品保証引当金	74	76
その他	1,646	1,038
流動負債合計	27,941	30,387
固定負債		
退職給付に係る負債	2,173	2,185
役員退職慰労引当金	501	542
リサイクル費用引当金	140	140
その他	189	143
固定負債合計	3,005	3,011
負債合計	30,946	33,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	250	250
利益剰余金	61,092	60,632
自己株式	△267	△373
株主資本合計	62,075	61,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	611	731
繰延ヘッジ損益	31	270
為替換算調整勘定	△31	49
退職給付に係る調整累計額	△222	△216
その他の包括利益累計額合計	388	835
純資産合計	62,463	62,343
負債純資産合計	93,410	95,742

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	34,313	34,735
売上原価	25,010	25,724
売上総利益	9,303	9,010
販売費及び一般管理費	7,567	8,248
営業利益	1,736	761
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	87	53
持分法による投資利益	4	29
その他	29	25
営業外収益合計	121	108
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	162	130
支払手数料	2	1
その他	18	3
営業外費用合計	185	136
経常利益	1,672	734
特別利益		
投資有価証券売却益	—	76
特別利益合計	—	76
特別損失		
固定資産除却損	2	2
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	1,669	808
法人税、住民税及び事業税	345	76
法人税等調整額	181	181
法人税等合計	527	257
四半期純利益	1,141	550
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,141	550

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,141	550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	120
繰延ヘッジ損益	△0	239
為替換算調整勘定	75	56
退職給付に係る調整額	24	4
持分法適用会社に対する持分相当額	40	25
その他の包括利益合計	103	446
四半期包括利益	1,244	997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,244	997

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	IT関連	食品	計		
売上高					
一時点で移転される財	24,734	8,984	33,719	—	33,719
一定の期間にわたり移 転されるサービス	464	—	464	129	594
顧客との契約から生じ る収益	25,199	8,984	34,183	129	34,313
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	25,199	8,984	34,183	129	34,313
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	1,254	1,254
計	25,199	8,984	34,183	1,384	35,567
セグメント損益	926	1,094	2,021	807	2,829

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,021
「その他」の区分の利益	807
セグメント間取引消去	△1,093
四半期連結損益計算書の営業利益	1,736

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	IT関連	食品	計		
売上高					
一時点で移転される財	23,923	10,211	34,135	—	34,135
一定の期間にわたり移 転されるサービス	544	—	544	55	600
顧客との契約から生じ る収益	24,468	10,211	34,679	55	34,735
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	24,468	10,211	34,679	55	34,735
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	—	1	980	982
計	24,469	10,211	34,681	1,036	35,717
セグメント損益	△73	1,155	1,081	352	1,434

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,081
「その他」の区分の利益	352
セグメント間取引消去	△672
四半期連結損益計算書の営業利益	761